

YRS
ユアーズ



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第178号

トピックス

新年度を迎えて

【平成31年度にあたって】

施設長 竹内 恵子

平成30年度も、聴覚障害のある方々の様々なニーズに対し、コミュニケーション支援、相談支援を基軸とした諸事業を拡充、制度の改善を目指し、横浜市や関係団体と連携しつつ事業を実施してまいりました。運営にご協力をいただいた方々に改めて感謝申し上げます。平成30年度は、第三期指定管理期間の中間年にあたり、第三者評価委員会による事業評価を受けましたが、派遣事業をはじめとした各事業とも良い評価をいただきました。以下、平成30年度の主な取組をご報告します。

◆**通訳派遣・研修事業**：派遣・紹介人数は計13,190人（平成29年度：11,666人）で、過去最高数となりました。訪問看護等の介護保険関係のニーズを含む医療場面の通訳依頼の伸びが著しく、昨年度対比113%となりました。通訳者研修事業については、手話39回、要約28回の研修会を実施し、通訳者のスキルアップに努めました。

◆**養成事業への協力**：（一社）横浜市聴覚障害者協会（以下：横聴協）が実施する手話養成事業については、養成事業運営委員会への参加、通訳養成Ⅲの運営協力、講師研修の企画等、養成事業全般に協力した他、登録試験の実施にも協力しました（合格者12人）。昨年度は特に奉仕員養成講師の育成プロジェクトの企画、運営に協力しました。横浜市中途失聴・難聴者協会（以下：浜難聴）が実施する要約筆記者養成事業については、登録試験の実施等に協力しました。今回の試験では、15人（手書き6人、パソコン9人）の合格者がありました。

◆**聴覚障害者相談事業**：即時の対処が必要な案件への対応の他、高齢ろう者宅（独居・夫婦世帯）への定期出張（訪問）に積極的に取組みました。出張、面談等による対応延べ件数は1,097件（昨年度対比112%）となりました。



◆**普及・啓発事業**：聴障団体や手話サークルからの講師派遣依頼に対応しました。啓発資材関係では、横浜市要約筆記者協会の協力を得て作成した要約筆記に関する案内（「要約筆記をご存じですか？」）を、18区役所の高齢・障害関連部署、ケアプラザ等計213箇所に送付し、事業の利用拡大に取組みました。

◆**ビデオライブラリー事業**：30年度も障害者放送統一機構へ提供する番組として、横聴協の協力のもと横浜を題材とした2作品を提供した他、情報提供施設事業等に関する手話動画を作成し、ホームページにて配信しました。

その他、派遣事業運営委員会を計3回開催し、派遣事業に関する具体的な課題について協議しました。災害対策については、横聴協を中心として立ち上げられた「聴覚障害者災害対策救援本部横浜市域本部」に参画し、啓発や学習活動等について協議を進めています。

今後も、電話リレーサービスや遠隔通訳、新たに厚労省が打ち出した手話通訳士増を目的としたキャリアパス事業等、国レベルの動向にも注視しながら、横浜市及び関係団体との連携を強化し、既存事業の拡充はもとより新しい試みにもチャレンジしてまいります。

5月から新元号となる節目の年、情報提供施設には「令和」に相応しいフレッシュな4人の職員（正規3人、非常勤1人）が仲間入りしました。これからも横浜市の聴覚障害者の皆様とその関係者にとって利用しやすく、身近な施設であり続けられるよう職員一同努めてまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

派遣事業

平成31年度

手話通訳者・要約筆記者事業連絡会を開催しました

この連絡会は手話通訳者・要約筆記者と情提職員が一堂に会し、新年度の組織（通訳者・情提職員）体制、派遣事業に関する状況、研修計画、通訳業務に関する留意点を確認する場として、毎年年度当初に実施しています。

今年度は、4月14日（日）の午後、手話通訳者・要約筆記者合同で実施しました。出席者は手話通訳者123人、要約筆記者69人でした。はじめに横聴協の井上理事長、浜難聴の須山会長からご挨拶をいただきました。その後、施設長より派遣事業に関する平成30年度の国・神奈川県・横浜市の状況説明等を行いました。

通訳業務に関する説明では、通訳業務の基本的な事項と特に留意してほしい点（変更・追加箇所）について確認し、研修事業では1年間の研修計画について説明を行いました。また、個人情報保護に関する研修や、報告書の書き方の説明をしました。

新年度の通訳者体制は、手話通訳者174人（非常勤27人、登録147人）、登録要約筆記者81人です。今年度も引き続き情提事業のよりスムーズな運営に努めてまいりたいと思います。よろしくお願ひします。



【見学報告】

市立ろう特別支援学校の生徒さんへ 事業説明を行いました

2月18日（月）、横浜市立ろう特別支援学校高等部3年生6人と引率の教員2人が訪問学習に来られました。今年で8回目になります。今回、パソコン通訳による、文字での情報保障も行いました。

挨拶・事業紹介の後、手話通訳者・要約筆記者派遣事業、遠隔手話通訳・区役所設置通訳事業の紹介、聴覚障害者相談事業等の説明を行いました。通訳派遣申込書の記入練習、また、生徒の皆さんが持っている携帯電話・スマートフォンやタブレットを使って、メールでの通訳派遣申し込みの文面作成・テスト送信を行いました。当施設の事務所や遠隔手話通訳事業の模擬通訳場面を見学し、最後に横浜市聴覚障害者協会の内田氏からの挨拶をいただきました。皆さんの今後の活躍を期待しています。



～職員の異動がありました～

【退職者】

3月31日付 笹尾 未喜（ささお みき）：（聴覚障害支援員 派遣事業担当）
田井 忍（たいしのぶ）：（聴覚障害支援員 相談事業担当）
古川 鈴子（ふるかわ すずこ）：（聴覚障害支援員 相談事業担当）

【新採用】

4月1日付 大山 聡子（おおやま さとこ）：（聴覚障害支援員 相談事業担当）
直井 彩香（なおい あやか）：（聴覚障害支援員 派遣事業担当）
涌井 美夏（わくい みなつ）：（聴覚障害支援員 派遣事業担当）
小松 智美（こまつ ともみ）：（非常勤職員 受付・遠隔通訳担当）



【実施報告】

字幕付き映画会

3月10日(日)、ラポールシアターで字幕付き映画会「嘘八百」を開催し、当日申込みあわせて150人の来場者がありました。今回も、聴覚に障害のある方をはじめ、字幕を必要とする方も楽しんでいただけるように、字幕サークル「まじっく」が字幕制作と投影を担当しました。終了後のアンケートには、「感動した」「字幕が付いて良かった、わかりやすかった」等、多くの温かいお言葉をいただきました。次回の字幕付きイベントも、ウェブ等でお知らせしていきます。



【参加報告】

関東ろうあ者相談員連絡会

3月8日(金)、標記連絡会が聴力障害者情報文化センターで開催され、当施設から職員2人が参加しました。今回のテーマは聴覚障害者を対象とした「余暇活動」で、神奈川県内と群馬県内の相談員で構成された神奈川・群馬チームが担当しました。相談員4人が各地域でどのような余暇活動が実施されているか、開催する時の相談員の関わり、活動内容の詳細、居場所づくりの取り組みなどの発表と質疑応答を行いました。その他、次年度に向けて会則の改定、会計についてなどを話し合いました。次回開催は5月24日(金)、定期総会です。



【実施報告】

「聴覚障害者災害救援横浜市域本部会議」について

3月13日(水)、今年度第4回の標記会議が開催されました。2019年度計画について検討し、会員対象の学習会テーマについて協議した結果、「HUG(避難所運営ゲーム)」を実施することとなりました。他、通訳者協会と情報提供施設で作成した啓発資材(案)については、各団体から出された意見を反映した修正版を、次回会議で再度検討することとなっています。次回会議は5月28日(火)に開催されます。

【参加報告】

手話関係者の健康フォーラム2018IN神奈川

2月24日(日)、横浜ラポールにて手話関係者の健康を考える3団体委員会((一財)全日本ろうあ連盟、(一社)全国手話通訳問題研究会、(一社)日本手話通訳士協会)主催により標記フォーラムが開催されました。この行事は、手話通訳者をはじめとした手話関係業界に関わる人の健康について学び考える場として、年1回、全国持ち回りで開催されているものです。当日は、(公財)社会医学研究センター:村上剛志氏による基調講演(「みんなが働きやすい環境作り~世界の動き・日本の動き~」)の後、「働く環境と健康について」のテーマでパネルディスカッションが行われ、パネリストの一人にラポールから施設長が加わりました。フォーラム全体を通して、手話通訳者の高齢化、養成・研修の必要性、派遣調整の方法などの課題が提起されました。今回の学びを横浜市の制度改善に活かしていきたいと思えます。



(平成 30 年度)



■通訳者の派遣・紹介人数					■聴覚障害者の相談		
内容	手話通訳	要約筆記	合計	29年度	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	5,996	262	6,258	5,305	医療	102	269
司法	62	5	67	108	職業	27	41
教育・保育	778	69	847	780	教育	2	3
労働・雇用	718	82	800	776	住宅	20	44
社会生活	1,719	204	1,923	1,494	生活	207	350
自己啓発	246	59	305	308	福祉	167	330
福祉推進	1,275	1,492	2,767	2,690	法律	22	39
相談員	3	0	3	0	聞こえ	18	21
他都市より	200	20	220	205	合計	565	1,097
合計	10,997	2,193	13,190	11,666	29年度	511	974
29年度	9,630	2,036	11,666				

■通訳者の現任研修					■映像・字幕制作 () は 29 年度	
手話研修	回数	39 (35)	参加人数	1,208 (1,016)	自主制作作品数	74 (57)
筆記研修	回数	28 (29)	参加人数	555 (597)		

■遠隔手話通訳事業						■普及・啓発事業		
区	件数	区	件数	区	件数	派遣先	派遣件数	参加人数
鶴見	2	西	1	栄	9	国・県機関	1	16
神奈川	3	南	0	旭	2	市機関	1	11
港北	0	港南	2	戸塚	1	教育機関	3	24
緑	1	金沢	3	瀬谷	2	企業等	0	0
都筑	0	磯子	2	泉	2	聴覚障害者団体	7	277
青葉	6	中	1	保土ヶ谷	0	その他	3	66
件数合計					37 (69)	合計	15 (33)	394 (1,166)

■視聴覚機器の貸出					
物品名	保有数	貸出件数	物品名	保有数	貸出件数
スクリーン	6	242	OHC用プロジェクター	4	209
磁気ループ	2	53	ブルーレイディスクレコーダー	1	25
液晶プロジェクター	2	241	PC文字通訳用機器	4	679
テープレコーダー	3	69	PC文字通訳用機器個人用	2	167
ビデオカメラ	1	47	合計		1,945
OHC	4	213	(29年度)		(1,418)



- | | | |
|-------------------|------------------|-----------------|
| 3月 | 13 災害救援横浜市域本部会議 | 30 退職者辞令交付 |
| 1 手話登録試験委員会 (横聴協) | 15 事業団人権研修 | 4月 |
| 6 特殊検診機関訪問 | 16 手話通訳養成 I 選考会 | 1 新採用職員辞令交付 |
| 7~9 手話通訳士専門研修 | (横聴協) | 1~4 新採用職員研修 |
| (国リハ学院) | 23 手話通訳養成 II 選考会 | 6 手話養成開講式 (横聴協) |
| 8 関東ろうあ者相談員連絡会 | (横聴協) | 14 通訳者事業連絡会 |
| 9 手話養成基礎選考会 (横聴協) | 25 区役所配置通訳者説明会 | 15 非常勤手話通訳者会議 |
| 10 字幕付きイベント | 25 衛生委員会 | 18 県警通訳センター来訪 |
| 11 非常勤手話通訳者会議 | 27 主管課定例会議 | 22 衛生委員会 |
| 12 視聴覚機器点検 | 30 手話養成運営委員会・講師会 | 24 主管課定例会議 |
| 13 啓発DVD作成委員会 | (横聴協) | |

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日：平成 31 年 4 月 26 日
 発行者：(社福) 横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設
 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059
 ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>